



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <https://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	33,228	25.9	4,124	63.9	4,055	55.6	2,783	50.5
2022年3月期第3四半期	26,389		2,515		2,606		1,849	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,261百万円 (67.9%) 2022年3月期第3四半期 1,942百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	604.02	603.47
2022年3月期第3四半期	451.10	448.50

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	53,963	23,512	43.6
2022年3月期	47,507	20,331	42.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 23,512百万円 2022年3月期 20,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		60.00		80.00	140.00
2023年3月期		80.00			
2023年3月期(予想)				80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	14.5	4,800	17.6	4,700	12.0	3,200	10.6	704.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,717,895 株	2022年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	18,842 株	2022年3月期	172,680 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	4,608,128 株	2022年3月期3Q	4,099,536 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国において新型コロナウイルス感染症からの行動制限緩和による経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギーと原材料価格の高騰や、中国での「ゼロコロナ政策」の影響がサプライチェーンに混乱を与えたことなどにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

わが国経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、経済活動は正常化に向けた動きがあるものの、円安による為替相場の変動や原材料価格の高騰に伴う物価の上昇が続き、個人消費の停滞が懸念されるなど景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、今期を初年度とする新中期経営計画「“創”lution 2025 GRIT & Adjust」を策定し、工作機械事業の構造改革、研削ソリューション企業への変革を重点戦略として業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は33,228百万円(前年同期比25.9%増)、営業利益は4,124百万円(前年同期比63.9%増)、経常利益は4,055百万円(前年同期比55.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,783百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①工作機械

国内市場におきましては、工作機械業界や半導体関連向けに工作機械需要が引き続き高まっております。受注につきましては、工作機械業界向けに大型平面研削盤、セラミックス業界向けにロータリー研削盤を受注するなど前年同期を上回っております。売上につきましても、半導体関連を中心として幅広い業種で大型平面研削盤や汎用平面研削盤の販売が増加いたしました。

海外市場におきましては、米国では前年度好調であった鋳物の需要が減少したため、受注は前年同期を下回りましたが、コロナ禍以降長く低迷していた航空機業界では回復の動きがみられ大型平面研削盤を受注することができました。欧州ではウクライナ問題の長期化など地政学リスクの影響に伴う先行きへの不安感から受注は減速傾向がありますが、売上は半導体関連やEV車関連向けの販売を中心に前年同期より増加しております。中国では経済の後退が懸念される一方で、EV車生産の拡大によりバッテリー等の金型加工の用途で大型平面研削盤の需要が高まるなど、工作機械の設備投資は好調を維持しております。東南アジアにおいても、行動制限緩和により経済活動は回復傾向にあり、マレーシアなど一部の地域で受注、売上ともに増加いたしました。

以上の結果、売上高は22,050百万円(前年同期比23.4%増)、セグメント利益(営業利益)は1,667百万円(前年同期比126.0%増)となりました。

②半導体関連装置

半導体市場におきましては、世界的なインフレによる物価の高騰や中国経済の減速の影響でスマートフォンやパソコンなどの民生機器向けの半導体需要が低下しております。一方で、5GやIoTの進化とそれに伴うAI関連やデータセンター能力拡張といった潜在的な需要は引き続き拡大しており、半導体市場の中長期的な成長が期待されております。

このような状況の中で当社グループは、ポリッシュ装置やラップ盤の拡販に向けて、ウェーハ業界向けの次世代機種の開発やカスタマーサポート体制の強化などの諸施策を進めてまいりました。その結果、受注につきましては、前期の大口受注の影響で前年同期比では減少しているものの、半導体業界の設備投資需要は継続しており、国内、東アジアおよび欧州の複数の取引先からファイナルポリッシャーを中心に半導体製造装置の受注を安定して獲得いたしました。売上につきましては、継続する半導体需要が寄与し、国内、東アジアおよび欧州向けにウェーハ生産用のファイナルポリッシャーや液晶用ガラスマスク加工装置の販売をするなど、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は11,178百万円(前年同期比31.3%増)、セグメント利益(営業利益)は3,279百万円(前年同期比30.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して6,456百万円増加し、53,963百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,575百万円、棚卸資産が3,859百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して3,274百万円増加し、30,451百万円となりました。主な要因は、電子記録債務が1,524百万円、短期借入金が1,259百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して3,181百万円増加し、23,512百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,783百万円、配当金の支払い731百万円により2,052百万円、及び為替換算調整勘定が497百万円増加したこと、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分665百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.8%から43.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2022年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,333	8,909
受取手形、売掛金及び契約資産	8,114	7,841
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	4,553	5,601
仕掛品	6,331	8,197
原材料及び貯蔵品	3,418	4,363
その他	723	531
貸倒引当金	△131	△130
流動資産合計	35,343	40,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,454	3,653
機械装置及び運搬具（純額）	2,846	2,895
その他（純額）	3,878	5,054
有形固定資産合計	10,179	11,603
無形固定資産	158	230
投資その他の資産		
投資有価証券	255	257
退職給付に係る資産	980	1,031
その他	608	542
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,826	1,814
固定資産合計	12,164	13,649
資産合計	47,507	53,963
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,552	3,628
電子記録債務	2,893	4,418
短期借入金	3,040	4,299
1年内償還予定の社債	6	12
1年内返済予定の長期借入金	512	618
未払法人税等	687	832
契約負債	11,183	11,946
賞与引当金	481	215
製品保証引当金	45	42
その他	2,090	2,436
流動負債合計	24,493	28,449
固定負債		
社債	24	18
長期借入金	765	220
退職給付に係る負債	965	1,006
資産除去債務	119	119
その他	809	637
固定負債合計	2,683	2,001
負債合計	27,176	30,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
資本剰余金	140	138
利益剰余金	15,321	17,373
自己株式	△743	△81
株主資本合計	19,598	22,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	4
為替換算調整勘定	436	934
退職給付に係る調整累計額	282	262
その他の包括利益累計額合計	723	1,201
新株予約権	9	—
純資産合計	20,331	23,512
負債純資産合計	47,507	53,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	26,389	33,228
売上原価	18,192	22,605
売上総利益	8,197	10,623
販売費及び一般管理費	5,681	6,499
営業利益	2,515	4,124
営業外収益		
受取利息	5	14
受取配当金	1	3
助成金収入	13	6
物品売却益	41	53
為替差益	111	—
その他	46	33
営業外収益合計	219	111
営業外費用		
支払利息	74	66
為替差損	—	34
支払手数料	18	17
控除対象外消費税等	—	25
その他	36	35
営業外費用合計	128	179
経常利益	2,606	4,055
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産処分損	—	16
特別損失合計	—	16
税金等調整前四半期純利益	2,606	4,041
法人税等	757	1,257
四半期純利益	1,849	2,783
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,849	2,783

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,849	2,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	111	497
退職給付に係る調整額	△17	△20
その他の包括利益合計	93	478
四半期包括利益	1,942	3,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,942	3,261

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,875	8,514	26,389	—	26,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,875	8,514	26,389	—	26,389
セグメント利益	737	2,506	3,244	△728	2,515

(注) 1. セグメント利益の調整額△728百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,050	11,178	33,228	—	33,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,050	11,178	33,228	—	33,228
セグメント利益	1,667	3,279	4,947	△822	4,124

(注) 1. セグメント利益の調整額△822百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	24,770	97.9	20,132	120.1
半導体関連装置	16,059	57.1	39,098	120.1
合計	40,830	76.5	59,231	120.1

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	22,050	123.4
半導体関連装置	11,178	131.3
合計	33,228	125.9